

オスプレイは配備撤回を！

飛行停止が実現できるように日米地位協定の抜本改定を！

綾瀬市議会議員 越川好昭

昨年11月29日、岩国基地から嘉手納基地に向かっていた米軍横田基地所属の輸送機オスプレイが屋久島沖で墜落。8人が死亡する重大事故が起きました。

11月30日、防衛大臣は在日米軍司令官に対して、飛行にかかわる安全が確認されてから飛行を行うよう要請しましたが、**厚木基地では12月6日まで飛行が続いていました。**

日本の要請に対して米軍はいうことを聞かず12月6日、アメリカ空軍特殊作戦司令部が「初期段階の調査で得られた情報は、機体そのものの問題が事故につながった可能性を示している」という声明を出して、ようやく全世界で飛行を停止しました。

オスプレイの墜落事故は、厚木基地や横浜ノースドックを抱える神奈川県は他人事ではありません。

厚木基地ではたびたびオスプレイが訓練飛行を行っています。横浜ノースドックは、オスプレイを横田基地に配備する際の陸揚げ拠点です。ノースドックから横田基地まで、オスプレイが飛んでいます。横田基地配備のオスプレイは、相模原市上空で訓練飛行をしているところをよく見かけます。

今回の事故が起こる直前、オスプレイは厚木基地に10月下旬から11月上旬に3回飛来。事故が起きた11月29日には4機が飛来。12月6日まで、厚木基地周辺を飛行していました。

厚木基地を抱える**綾瀬市と大和市は11月30日、安全が確保されるまでオスプレイの飛行を停止するよう防衛省や外務省に対して要請**。県と基地を抱える自治体など8市で構成する神奈川県基地関係県市連絡協議会も、同様の要請を防衛省や外務省に行いました。けれども、**厚木基地では12月1日にもオスプレイの飛行が確認されたために、綾瀬市は12月2日、再度の要請を防衛省に提出**。

国民連合・神奈川が組織加入している基地撤去を求める県央共闘会議（略称）**厚木基地爆音防止期成同盟など4団体は12月6日、厚木基地正門前で抗議集会を持ち、米軍厚木基地司令官にオスプレイの飛行停止・配備撤回などを求めました**。関係自治体も住民も、オスプレイの飛行停止を求めています。

日米安保条約と同時に締結された日米地位協定は日本国内での米軍の行動を規定していますが、その内容はまったく治外法権と言っても良いほど、日本の法令が適用されません。ですから、日本政府が米軍に飛行停止を要請しても、米軍はそれを無視して飛行させることができるのです。

日本国民の、神奈川県民の安全を守るためには、全国知事会が求めているように、米軍に対して日本の法令が適用できるように、日米地位協定の抜本改定が必要です。県民の大きな声を上げて、沖縄と連携して実現を勝ち取りましょう。